

宮城県本吉響高等学校
校長 角田 泰幸

令和3年度学校評価報告書

1 本年度の重点目標

○基礎学力の向上と家庭学習の習慣化	～自ら学ぶ姿勢の育成を目指して～
○規範意識の涵養と思いやる心の育成	～凡事徹底の意識向上を目指して～
○進路実現に向けた主体的行動の促進	～第一志望進路決定100%を目指して～
○自然や人との共生	～心豊かな人間の育成を目指して～

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

A 達成している B おおよそ達成している C あまり達成していない D 達成していない

評価分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学習指導	① 研究授業や学び合いをととした授業力向上について	A	「分かりやすい授業づくり」のために、教科枠を超えた互見授業や職員研修を実施した。今後は他校の実践例を学ぶ研修会を実施する。	A	A
	② 基礎学力の定着について	B	生徒の学力差の広がりやコロナ対応等も含め、授業時数を確保しながら効果的な学び直しを行うために、個に応じた新たな取組を検討する。	A	B
学校関係者評価委員会における意見		○基礎学力の定着とともに、主体的に学ぼうとする姿勢を育成する授業や学び直しのあり方について、是非、様々な角度から検討を進めて欲しい。 ○コロナウイルス感染症で大変であったと思うが、今後も尽力していただきたい。			
生徒指導	① 生徒が安全・安心に過ごせる学校づくりについて	A	今年度は外部講師を招聘し不登校対応と防災対応の職員研修を実施した。次年度も学校課題に応じた研修会を実施し安全な学校づくりを推進する。	A	A
	② いじめ防止対策の周知について	C	いじめ防止対策について、学校評価の生徒・保護者からの評価が低い。LHRにおける話し合い活動の充実や取組状況の報告などを工夫する。	B	B
学校関係者評価委員会における意見		○生徒・保護者の教育相談に関する評価が上がっていることは、学校全体で個々の悩みに丁寧に対応しているからだと思う。継続した取組を願う。 ○いじめ防止に関しては、様々な場面で「絶対に許さない」という姿勢をアピールして欲しい。			
進路指導	① 進路実現への意欲向上支援について	A	生徒に寄り添った進路相談と地学地就コーディネーターによる職場開拓により進路達成率100%となった。今後も学校全体で進路達成を支援する。	A	A
	② 「産業社会と人間」や「総合的な学習の時間」の活用について	B	「産業社会と人間」や「総合的な探究の時間」の取組をポートフォリオ等に蓄積し、自分の適性を把握や将来に向けた職業観の育成に役立てる。	B	B
学校関係者評価委員会における意見		○来年度も進路達成100%を維持していただきたい。離職率を下げる指導も是非お願いしたい。 ○多様な進路達成に向け、外部人材の活用や参考となる他校の取組を積極的に取り入れて欲しい。			
地域連携	① 学校情報の積極的な発信について	A	学校HPで更新が滞っていた箇所はすぐに更新した。生徒の活躍や学校の取組についても、週に1度のペースで掲載するなど情報発信に力を入れた。	A	A
	② 特色ある学校づくりについて	B	総合学科特有の多様な学びと地域人材を活用した幅広い学びを融合させ、特色ある学校づくりを推進するとともに本校の特色を地域に発信する。	A	B
学校関係者評価委員会における意見		○ホームページで更新が遅い箇所がある。タイムリーに情報を発信することでアクセス数が増加し、学校の魅力を多くの人に知ってもらうことにつながると思われる。 ○震災から10年の節目を迎えたが、地域と連携した防災教育の充実を願う。			

3 次年度の課題と改善方策

次年度の課題	改善方策
① 基礎学力の充実	研究授業等で授業力向上を図るとともに個に応じた学び直しのあり方を検討する。
③ 幅広い進路希望の達成	課外講習の実施や模擬試験の活用など、進学指導の体制を整える。
④ 特色ある学校づくり	各分野の専門家を地域から招聘し、専門教科を学ぶ生徒の知識技能向上を図る。